



平成 20 年 10 月 1 日

各 位

会 社 名 JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 兼 CEO 河原 春郎
(コード番号 6632 東証第一部)
問合せ先 取締役副社長 兼 CFO 尾高 宏
(TEL . 045-444-5232)

平成 21 年 3 月期業績予想および配当予想に関するお知らせ

日本ビクター株式会社(以下「ビクター」)および株式会社ケンウッド(以下「ケンウッド」)は、平成 20 年 10 月 1 日付で、株式移転の方法により共同持株会社「JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社」(以下「JVC・ケンウッド・HD」)を設立し、経営統合を実施(以下「本株式移転」)いたしました。

JVC・ケンウッド・HD は、本日付で東京証券取引所市場第一部に上場いたしましたので、平成 21 年 3 月期業績予想を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期の連結業績予想

(1) 平成 21 年 3 月期損益の連結対象期間について

JVC・ケンウッド・HD の業績は、当上半期までの両社単純合算と非連続で過去と決別

本株式移転は企業結合会計基準における「取得」に該当し、ケンウッドが会計上の取得企業となり、パーチェス法が適用されます。そのため、JVC・ケンウッド・HD の平成 21 年 3 月期通期業績は、ケンウッドの平成 21 年 3 月期通期業績をベースに、ビクターの経営統合日以降の業績、すなわち平成 21 年 3 月期第 3 四半期および第 4 四半期の業績を連結したものとなります。

これにより、JVC・ケンウッド・HD は、構造改革の影響などにより当期純損失を計上する予定のビクターの当第 2 四半期累計期間の業績を損益計算書に取り込むことなく、パーチェス法の適用によって過去と決別し、構造改革の成果を直ちに活かすことのできる健全な損益基盤で当第 3 四半期に新しいスタートを切ることができます。

(2) 会計方針の変更にもなう売上高の減少と売上高利益率の上昇について

ビクターでは、当第 2 四半期まで、顧客に対する値引き額の一部を販売費として処理しておりましたが、本株式移転にともない当第 3 四半期以降はケンウッドと同様に売上高から直接控除するネット方式に変更いたします。

これにより、ビクターの当第 3 四半期および当第 4 四半期の累計売上高予想は、従来の算定方法に比べて 300 億円程度減少いたしますが、この変更は営業損益に影響しないため、従来方式に比べて売上高営業利益率をはじめとする売上高利益率は上昇いたします。

(3) 「負ののれん」の発生にもなう営業外収益の増加について

本株式移転により、JVC・ケンウッド・HD の連結貸借対照表において「負ののれん」が約 100 億円発生する見込みであることから、業績予想には、それを 5 年償却することを想定し、営業外収益として当期分の「負ののれん」償却額約 10 億円(一年当たり償却額の半分)を織り込みました。

なお、「負ののれん」の金額は、現時点における試算であり最終的には変動する可能性があります。

(4) 連結納税制度の適用にともなう納税予想額の減少について

本株式移転により、JVC・ケンウッド・HD では連結納税制度を適用する予定であり、当期におけるJVC・ケンウッド・HD の納税予想額が、両社が期初に想定した納税予想額の合計より少なくなる見込みであることから、業績予想には、その減少分約5億円(当下期分)を織り込みました。

なお、「納税予想額」の金額は、現時点における試算であり最終的には変動する可能性があります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益 (対売上高比率)	経常利益 (対売上高比率)	当期純利益 (対売上高比率)
平成21年3月期 予想	400,000	12,500 (3.1%)	7,500 (1.9%)	5,000 (1.3%)
(参考) 平成20年3月期	823,711	9,521 (1.2%)	4,075 (0.5%)	44,340 (5.4%)

(注)平成20年3月期の数値は、ビクターの平成20年3月期実績とケンウッドの平成20年3月期実績の単純合計です。

2. 平成21年3月期の配当予定

当第3四半期および第4四半期は、新しい連結企業体として、経営統合による新しい企業存続基盤の構築やシナジー効果の実現など企業価値の拡大・創造に向けた取り組みに集中するため、JVC・ケンウッド・HDとしての期末配当は見送らせていただく予定です。

参考まで、ケンウッドが昨日発表いたしました「平成21年3月期の配当に関するお知らせ」に記載のとおり、ケンウッドでは平成20年9月末時点の株主様に対して、前期の年間配当と同額にあたる一株当たり2円の間配当を期初の予定どおり実施することを決議いたしました。

なお、ビクターとしての中間配当は期初の予定どおり見送らせていただく予定です。

以 上